

# 第一新聞

発行所  
第一未来館  
Tel:088-655-5001

第149号



## 秋は受験の最終局面

例年以上に猛暑となった今年の夏。長かった夏期講習が終わり、八月末より通常授業が再開となります。授業時間だけでも膨大ですが、それだけでなく毎日のように朝から晩まで塾内で勉強に励む強者たちもたくさんいました。人生で一番勉強した！と満足そうに話す生徒も多く、まさに灼熱の夏期講習だったのではないのでしょうか。

夏が終われば、当然次の季節は秋です。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋などよく言われますが、徳島第一ゼミに通う皆さんにとっては、もちろん勉学の秋としてもらいたいところです。せっかく朝から晩まで頑張った夏期講習も、ここからペースダウンしてしまつては元も子ありません。来る中学入試や高校入試に向けて、いよいよ最終局面へと突入していきます。今まではあまり勉強できずにサボり気味だった人たちも、一斉に最後の追い込みをかけてきます。

どうしても気持ち乗らない日、集中力が欠ける日は当然あると思います。残念ながら人間は、毎日同じ気持ちで努力できるようにはできていません。そんなときは周りを乗り越えてみてください。一緒に勉強を頑張ってきた仲間たち、毎日送り迎えしてくれている保護者の方、いろいろな人たちが皆さんの勉強を後押ししてくれています。受験勉強はもはや自分だけの個人戦ではなく、周りを巻き込んでの団体戦です。多くの人が自分自身を応援してくれている、そんな気持ちを忘れずに、今日も一日頑張りましょう！

(小倉先生)

## 夏が終わって

今年の夏も本当に暑かったですね。毎年この言葉を言っているような気がしますが、年々猛暑日になる日が増えてきているような気がします。私も自身も冷房のあたりすぎ、冷たいものの飲みすぎなどで体調を崩す時期がありました。皆さんは大丈夫でしたか？まだまだ9月も残暑が続くみたいですので、暑さ対策、夏バテ対策、体調管理に気を付けていきましょう。

約1か月の夏期講習会も先日終了しました。当初自身が描いていた予定通りに勉強が進んだでしょうか？進んだ人はそのまま継続して予習・復習を進めていきましょう。しかし、思うように進まなかったと思っている人も大丈夫。それが感じているだけでここからの挽回が可能なんです。何が足りなかったのか、何を主にして進めていくのか、そこを突き詰め、自身が考えるゴールにたどり着くまでに日々どうするべきかの逆算をし、実践していきましょう。

社会に出た時も、この逆算・実践する能力は非常に大事です。小学生・中学生の内にこの力を身につけましょう。結果は必ずついてきます。徳島第一ゼミ生の今後の健闘を信じておられます。

(竹田先生)



## ゼミ中学部だより(9月度)

夏期2大合宿(宿題を済ませる合宿・受験必勝夏合宿)から始まった2024年夏期講習会です。ゼミ小・中学部や四谷部の塾生の皆さん、今回も有意義に勉強生活を過ごせたでしょうか。学校の夏休み課題だけでなく、徳島第一ゼミでも授業の度に宿題が出されておられ、夏休みとは言え、勉強量をこなすという面で結構大変だったのではないかと思います。

そして、今回の夏期講習会では「映像こべつ」と「集団こべつ」の講座がありましたね。「映像こべつ」では自分の苦手分野の克服や先取り学習の早期終了といったスピード面での大きなメリットの

ある学習ができ、「集団こべつ」では苦手単元や不安要素のある単元の補強をじっくりとできましたね。塾生の皆さんは、きつといつもの夏期講習会よりも内容の濃い勉強ができたものと確信しています。

一方、中3生の皆さんについては、10月初旬にある第1回基礎学力テストに向けて、8月最終週に基礎学力テスト対策講座を夏期講習会の特別授業の一環として実施しました。高校受験生である中3生の皆さんが、自分の力を存分に発揮できるように一杯サポートをさせて頂きましたので、あと悔いのないよう全力を出してきて下さい。「焦らず楽しむ」精神で、毎日の受験勉強を乗り切ってくださいませ。

そして、中3生にとっても一つ意識すべきことは、高校入試の傾斜配点についてです。普通科は英語・数学・国語・理科・社会はそれぞれ100点ずつ、計500点ですが、徳島市立高校の理科や城南高校の応用数理科、徳島北高校の国際英語科などでは、特定の教科で最大計100点までの傾斜配点が高校入試の得点として加算されます。自分の志望校をきちんと確認して、普段の各教科にかける勉強時間の配分も考えて過

ごしていきたいと思います。

最後にこれは中1・2・3生に共通して言えることですが、夏休みの生活習慣から日常生活へのリズムに早く戻してください。いつまでも夏休みの間隔でいると、体も疲れやすく、勉強に對してモチベーションも上がりません。ただあまりにも急に生活習慣を戻そうとすると、精神的に結構大変な子もいると思いますので、適当に休憩をはさむことも重要で、新しい勉強のモチベーションを作り上げ、新学期を突き抜けていきましょう！

(工藤先生)

## 変わるものと変わらぬもの

ついに長かった夏休みも終わりました。まだまだ夏のように暑いですが暦の上では既に秋です。じきに少しずつ気温も下がりがり、冬まで一直線でしょう。そして、冬になれば、あっとい間に受験本番です。だから受験生の皆さんは、夏休みに勉強したことをベースにここからは、ひたすらに問題演習に力を入れなければなりません。

具体的には、実際の受験問題あるいはその類題を解いて自分の弱点を探す↓その弱点を一つずつ克服していくことです。よく、こう例えられますが、まさにその通りで一つ弱点を克服してもすぐに別の弱点が見つかるのでなかなか完璧にはならないと思います。しかしこのやり方を繰り返していくことで解ける問題が必ず増えていきます。

(宇都宮先生)

## グローバルイングリッシュキャンプを終えて

八月六日から八月十日の五日間、第一ゼミで七年ぶりの開催となるグローバルイングリッシュキャンプが行われました。イギリス、アメリカの各有名大学から選ばれた七名の外国人コーチの方々が、集まった生徒達とオールイングリッシュの授業をしてくださいました。私はスタッフの一員としてその場に

わたった程度です(東進衛星予備校など)。相変わらず、授業といえは学校でも塾でも鉛筆とノートを使って先生の話を聞くという形式です。【一部学校では電子教材も使用しています。】こうしたことは一体何を意味しているのでしょうか？それは、勉強の基本的なやり方は昔から変わっていないということなのです。つまり、勉強に近道はないのです。

もちろん同じ英単語を覚えるのも昔はとにかく書いて覚えていたのに、今では東進の高速基礎マスターで覚える、というように変化している勉強法もあります。しかし、この変化は求められる学力の質が変化したからではないでしょうか。要するに変化の理由は昔よりリスニング力が求められるようになったり、昔より分量の多い長文を短時間で読まないといけないようになったりからです。そのため、皆さんがこれからしていかねばならない勉強とは「新しく求められるようになった学力」を身に付けるために「昔と同じくコツコツすること」なのです。

現代が効率を求める時代なのはよくわかってはいますが、それでも変わらぬもの、というより変えられないものもきつとあるのです。だから、みなさん。どうか面倒くさからないうで欲しいのです。一見面倒なだけの勉強もやる前に不平を言わずに、まずはやってみる、その上でもっといい方法が見つかったらならそっちを選んでいいです。

五日間という短い間ではありましたが、私はこのプログラムに英語学習の大切な要素となるヒントがたくさん詰まっているように感じました。目の前に日本語が通じない相手がいれば、その誰かと会話をしなくてはならない時、仲良く

の進行や生徒達の様子を見てきたが、特に生徒達の成長ぶりにとっても驚かされました。初日は石のように力チ力チに緊張して言葉少なだった生徒も、二日目からはすっかり打ち解け楽しそうな笑顔を見せるようになり、やがてリラックスした状態でコーチの方々と話すようになりました。最終日には、参観に来た保護者を含めた皆が見守る中、全員が堂々と自分のライフミッションを発表できるようにまでなりました。別際には名残惜しうに英語でコーチに話しかけ、感謝を伝えたり、写真を撮ったりもしていました。間違いなく、今回参加した全員が大きな影響を受けることができたと感じます。

(今岡先生)